



「一生懸命はカッコいい」 笑顔を輝かせてがんばった、感動の運動会でした！

10月9日（金）、さわやかな秋晴れのもと、運動会を開催いたしました。

子供たちは、これまでの練習の成果を存分に発揮し、どの種目にも全力でがんばりました。はじめはうまくできなかった演技も、日々練習を重ねる中でできるようになり、その経験が一人ひとりの確かな成長につながりました。ゴールを目指して全力で走り抜く姿や仲間を応援する姿はとても輝いていました。この経験を胸に、これからの学校生活でも自信を持って挑戦し、さらに大きく成長してくれることを期待しています。



6年生は、小学校生活最後の運動会にリーダーとして思いを込めて臨みました。伝統のソーラン節では、真剣な表情や、力強く響く掛け声、心を一つにした動きは、とても感動的でした。最高学年としての頼もしい姿は、下級生たちがお手本として、これから目指す姿となったはずです。

運動会という大きな行事をやり遂げ、子どもたちはまた一步成長しました。これまでに培った、あきらめずにやり抜く強さや、仲間と心を通わせ協力する力をこれからの学校生活にしっかりとつなげていきます。

地域の皆様、保護者の皆様には、最後まで子どもたちへ温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。

インフルエンザの感染拡大に伴い、急遽平日開催への日程変更となったため、お仕事の調整等で多くの皆様にご不便をおかけいたしました。そのような中でも多くの方々にご観覧いただき、子どもたちを温かく見守っていただけたことに深く感謝申し上げます。

また、閉会後には多くの保護者の皆様にテントの撤収や後片付けをご協力いただき、円滑に作業を終えることができました。最後まで学校を温かく支えていただき、本当にありがとうございました。



相手の立場で考える 車いす体験学習

4年生が福祉学習の一環として、車いす体験を行いました。当日は、社会福祉協議会の方や、実際に車いすを利用されている地域の方を講師にお招きし、普段の暮らしや思いについて貴重な話をお聞きしました。

また、学習の中で、実際に車いすに乗り、校内での車いす操作や移動も体験しました。普段は何気なく通り過ぎているわずかな段差や傾斜が、車いすに乗る人にとっては進むのが困難な大きな障壁（バリア）になることを、身をもって実感しました。

4年生では、1学期に手話、アイマスク体験を実施し、聴覚障害や視覚障害への理解を深める学習にも取り組んできました。こうした体験は、多様な立場にいる人々の思いや暮らしやすさについて深く考える機会となりました。「自分にできる手助けは何か」を一人一人が心に刻む、実りある学習となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



頼もしいリーダーとして成長しています

新年度のスタートから半年が過ぎ、校内や地域で子どもたちの成長を感じる嬉しい場面が増えています。

先日、登校の見守りをして下さっている、地域の方から「通学班の班長さんが4月からぐんと成長して、安全に気を配りながら下級生をしっかり引っ張ってくれている」と心温まるお話をいただきました。毎日の安全な登校に加えて、子どもたちの成長もしっかりと見守って下さっていることが大変ありがたく、うれしくなりました。



校内でも6年生を中心としたリーダーシップが様々な場面で光っています。縦割り清掃では、下級生に優しく清掃の手順を教え、手本となって活動をリードしています。また、縦割り班で交流する「やよいタイム」では、みんなが楽しめるレクリエーションを自分たちで工夫して企画・運営し、下級生を上手にまとめて盛り上げてくれています。

下級生はそんなお兄さん・お姉さんの背中を見て育ちます。今後も温かく見守りながら、子どもたちの自主性と成長を支えていきます。

※10月・11月の主な行事予定や授業短縮等の情報は、弥生小学校HPでご確認ください。

【弥生小HP】 <https://tsuyama.schoolweb.ne.jp/3310008>

